

(36) 薬草混合物アムリット4がワタナベ遺伝性高脂血(WHHL)ウサギの臓器機能に及ぼす影響

文献名

Biochemical Archives, Vol.13, pp.285-296, 1997.doc

著者

J.Y.Lee J.A.Lott E.M.Kauffman H.M.Sharma

実施場所

オハイオ州立大学医学部
コロンバス、オハイオ州 43210

要約

著者らは、アムリット4が、DMBAにより誘発される乳癌や化学療法薬の有毒な影響を抑制し、肝ミクロソームおよびヒトのLDLの酸化を防止することを述べる。著者らは、WHHLウサギの臓器機能を評価するさまざまな生化学的試験に対するアムリット4の影響を調査した。11羽の雌性ホモWHHLウサギ(九週齢)を、対照群(n=5)と、6%のアムリット4(w:w)を添加した食餌を与える群(n=6)の二群に分けた。調査開始時から6カ月間、2カ月ごとに血液を採取し、6カ月目の最後には尿を24時間採取して、生化学的および血液学的な分析を行った。6カ月の期間中、対照群は、以下の試験の測定値において、アムリット4群と比較して有意な(p<0.05)増加を示した。肝機能試験;ガンマグルタミル転移酵素(33±9対0.5±1%)LDLイソ酵素4と5、総LD(394±41対249±14U/L)、腎機能試験;クレアチニン(1.0±0.05対0.8±0.03mg/dl)、尿カリウム、塩素、尿酸、膵臓酵素、リパーゼ(1017±87対867±74U/LL)、アミラーゼ、尿アミラーゼ。炭水化物の代謝;ブドウ糖(125±4対112±4mg/dl)、尿ブドウ糖。炎症および組織損傷の試験;ジエン接合(2.83±0.04対2.38±0.06OD)、WBC数、リンパ球数、クラアチンキナーゼ。以下の試験の測定値において、対照群は有意な(p<0.05)減少を示した。肝機能試験;アルブミン、フィブリノゲン、プロトロンビン時間、RBC機能試験;スーパーオキシドジスムターゼ、血球ヘモグロビン平均濃度。以上の結果は、アムリット4を添加した食餌を与えたウサギにおいて臓器の損傷が防止されたことを示唆している。

高脂質のWHHLウサギには様々な臓器機能の悪化も認められている。アムリット4を投与して、さまざまな臓器機能試験を行ったところ、それらの損傷が防止されたことが示された。本研究は、アムリット4には身体のすべての臓器を助ける普遍的な予防効果があることを実証している。